

2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 赤沼 和也 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績 (2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	22,988	△16.0	4,243	△41.8	6,915	△13.4	5,054	△11.4
2021年9月期第3四半期	27,371	57.0	7,287	178.6	7,983	232.2	5,704	150.8

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 7,791百万円 (22.1%) 2021年9月期第3四半期 6,379百万円 (329.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	337.17	ー
2021年9月期第3四半期	380.48	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	67,179	44,193	65.7
2021年9月期	64,276	37,901	58.9

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 44,154百万円 2021年9月期 37,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2022年9月期	ー	0.00	ー		
2022年9月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△16.4	5,400	△38.2	7,900	△17.5	5,700	△14.7	380.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年9月期3Q	15,348,720株	2021年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年9月期3Q	357,283株	2021年9月期	357,176株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年9月期3Q	14,991,463株	2021年9月期3Q	14,991,639株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。「(1) 経営成績に関する説明」及び「(2) 財政状態に関する説明」における前年同期や前連結会計年度末との比較は、当該会計基準等を適用する前の前連結会計年度の連結財務諸表を基礎に算定しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年10月1日～2022年6月30日)の世界経済は、コロナ禍からの経済活動再開の動きが世界各地で見られる一方、原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱に加え、ロシアによるウクライナ侵攻がインフレを更に加速させるなど、景気の先行き不透明感が一層増しております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、不透明な景況感に起因した設備投資意欲の減退など、事業活動への一時的なマイナス影響はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われま

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題を含む幅広い用途への利用を企図して、高品質・高付加価値な新型機群の開発を強化しております。

販売面では、主力のワンステップ成形機を中心に競争力強化による市場喚起を行っております。特に、世界各地で再開されている主要展示会への出展を加速することで、グローバルでの営業活動を強化しております。なお、高品質な飲料系ボトルの大量生産を得意とする1.5ステップ式の大型機「PF36シリーズ」は継続して受注を獲得しており、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、グローバル生産体制の最適化を図るため、増産対応とリスク分散を進めております。具体的には、インド工場での成形機等の生産能力増強と納期短縮を図るべく、工作機械等への設備投資を継続しております。なお、日本国内におきましては、将来の事業拡大に備え、本社工場近隣に新たな工場用地を取得しました。

環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、リサイクル材料を使った二層成形法には国内外からの多くの引き合いがあり、市場萌芽に向けた環境技術対応を今後も続けてまいります。

販売成績につきましては、生活必需品容器を中心とした引き合いは底堅いものがあるものの、前期の高水準の受注環境の反動により、当期の受注高は23,500百万円(前年同期比88.9%)、受注残高は12,685百万円(前年同期末比87.8%)と前年同期を下回りました。また、売上高につきましても22,988百万円(前年同期比84.0%)と減収となりました。

利益面につきましても、主に減収による影響で、売上総利益は10,110百万円(同77.3%)、営業利益は4,243百万円(同58.2%)、経常利益は6,915百万円(同86.6%)とそれぞれ減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も5,054百万円(同88.6%)と減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	22,988	10,110	4,243	6,915	5,054
前第3四半期	27,371	13,072	7,287	7,983	5,704
前年同期比	84.0%	77.3%	58.2%	86.6%	88.6%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	11,947	6,917	1,348	2,776	22,988
前第3四半期	15,654	7,712	1,493	2,510	27,371
前年同期比	76.3%	89.7%	90.2%	110.6%	84.0%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が11,947百万円（前年同期比76.3%）と好調であった前年同期と比べ大きく減少したものの、金型は6,917百万円（同89.7%）、付属機器は1,348百万円（同90.2%）と比較的小幅な減少に留まっております。一方、部品その他は2,776百万円（同110.6%）と好調に推移しており、容器設計からアフターサービスまでを一貫して提供する当社のビジネスモデルの底堅さを示しています。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988
前第3四半期	9,555	5,888	7,941	3,985	27,371
前年同期比	84.2%	63.5%	89.5%	102.7%	84.0%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	862	337	721	4,366	6,286
前第3四半期	1,669	775	1,417	5,985	9,848
前年同期比	51.6%	43.5%	50.9%	72.9%	63.8%

① 米州

好調な米国経済のもと、生活必需品等の容器需要は北米を中心に底堅いものがあるものの、前期の高水準の受注環境の反動もあり、地域全体の売上高は8,049百万円（前年同期比84.2%）と減収となりました。セグメント利益も売上規模の減少等により862百万円（同51.6%）と減益となりました。

② 欧州

コロナ禍からの経済活動再開の動きが見られる一方、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響もあり、域内では顧客需要の弱含みが見られます。そのため、地域全体の売上高は3,737百万円（前年同期比63.5%）と減収となりました。セグメント利益も売上規模の減少等により337百万円（同43.5%）と減益となりました。

③ 南・西アジア

インドを中心に中小型機の引き合いには底堅いものがあるものの、域内の新興国にはコロナ禍による影響が色濃く残る地域もあり、売上高は7,108百万円（前年同期比89.5%）と減収となりました。セグメント利益もインドにおける継続的な設備投資の影響等により721百万円（同50.9%）と減益となりました。

④ 東アジア

日本国内での引き合いが比較的堅調に推移したため、地域全体の売上高は4,092百万円（前年同期比102.7%）と増収となりました。一方、セグメント利益はグループ会社向けの売上減少の影響等により4,366百万円（同72.9%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	46,831	20,348	11,706	11,279	44,193
前連結会計年度	46,318	17,958	13,679	12,695	37,901

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ513百万円増加し、46,831百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ2,389百万円増加し、20,348百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ2,903百万円増加し、67,179百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,973百万円減少し、11,706百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,415百万円減少し、11,279百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ6,291百万円増加し、44,193百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び足元の為替動向を踏まえ、2021年11月10日に公表した業績予想を修正しました。詳細につきましては別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,389	16,471
受取手形及び売掛金	6,841	8,428
商品及び製品	2,363	2,322
仕掛品	7,690	8,459
原材料及び貯蔵品	7,749	9,615
その他	1,353	1,611
貸倒引当金	△69	△77
流動資産合計	46,318	46,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,156	5,591
機械装置及び運搬具 (純額)	5,317	5,551
土地	1,169	1,980
その他 (純額)	3,498	4,987
有形固定資産合計	15,142	18,111
無形固定資産	120	107
投資その他の資産		
投資有価証券	259	294
その他	2,532	1,951
貸倒引当金	△96	△117
投資その他の資産合計	2,694	2,129
固定資産合計	17,958	20,348
資産合計	64,276	67,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,521	2,012
短期借入金	2,125	1,973
未払法人税等	2,091	895
前受金	3,399	—
契約負債	—	4,028
賞与引当金	576	668
役員賞与引当金	47	49
その他	1,917	2,078
流動負債合計	13,679	11,706
固定負債		
長期借入金	10,911	9,479
役員退職慰労引当金	486	515
退職給付に係る負債	770	800
その他	526	485
固定負債合計	12,695	11,279
負債合計	26,374	22,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	33,467	37,022
自己株式	△300	△301
株主資本合計	40,223	43,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	69
為替換算調整勘定	△2,340	346
退職給付に係る調整累計額	△43	△40
その他の包括利益累計額合計	△2,350	375
非支配株主持分	28	39
純資産合計	37,901	44,193
負債純資産合計	64,276	67,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上高	27,371	22,988
売上原価	14,298	12,878
売上総利益	13,072	10,110
販売費及び一般管理費	5,785	5,866
営業利益	7,287	4,243
営業外収益		
受取利息	100	120
受取配当金	7	8
為替差益	462	2,497
受取手数料	34	—
受取和解金	146	—
その他	79	107
営業外収益合計	829	2,734
営業外費用		
支払利息	39	30
訴訟関連費用	84	9
その他	10	22
営業外費用合計	133	63
経常利益	7,983	6,915
税金等調整前四半期純利益	7,983	6,915
法人税、住民税及び事業税	2,361	1,687
法人税等調整額	△89	167
法人税等合計	2,272	1,854
四半期純利益	5,711	5,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,704	5,054

(四半期連結包括利益計算書)
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,711	5,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	35
為替換算調整勘定	649	2,692
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	668	2,731
四半期包括利益	6,379	7,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,372	7,780
非支配株主に係る四半期包括利益	7	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,555	5,888	7,941	3,985	27,371	—	27,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	23	6,581	15,908	22,580	△22,580	—
計	9,621	5,912	14,523	19,894	49,951	△22,580	27,371
セグメント利益	1,669	775	1,417	5,985	9,848	△2,561	7,287

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,561百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,546百万円、セグメント間取引消去△14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988	—	22,988
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988	—	22,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	7	5,752	11,565	17,388	△17,388	—
計	8,112	3,744	12,861	15,658	40,376	△17,388	22,988
セグメント利益	862	337	721	4,366	6,286	△2,042	4,243

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,042百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,231百万円、セグメント間取引消去188百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	15,599	9,054	12,069	7,053	77.4	77.9
金型	6,582	4,119	7,265	4,493	110.4	109.1
付属機器	1,755	1,175	1,356	976	77.3	83.0
部品その他	2,491	94	2,809	161	112.7	171.0
合計	26,429	14,443	23,500	12,685	88.9	87.8

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	8,214	4,280	7,179	3,474	87.4	81.2
欧州	4,411	1,997	5,154	2,810	116.8	140.7
南・西アジア	8,351	4,344	7,523	4,069	90.1	93.7
東アジア	5,451	3,821	3,643	2,330	66.8	61.0
合計	26,429	14,443	23,500	12,685	88.9	87.8

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	15,654	57.2	11,947	52.0	76.3
金型	7,712	28.2	6,917	30.1	89.7
付属機器	1,493	5.4	1,348	5.8	90.2
部品その他	2,510	9.2	2,776	12.1	110.6
合計	27,371	100.0	22,988	100.0	84.0

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	9,555	34.9	8,049	35.0	84.2
欧州	5,888	21.5	3,737	16.3	63.5
南・西アジア	7,941	29.0	7,108	30.9	89.5
東アジア	3,985	14.6	4,092	17.8	102.7
合計	27,371	100.0	22,988	100.0	84.0